

(6) 2016年(平成28年) 9月15日(木曜日)

ちようどこれを書いている今日は、9月11日です。9・11の悲劇から、ちようど15年が経ちました。CNNの記事のひとつに、「15年は15秒と一緒だ」というタイトルの記事がありました。一体どういう意味かと思ひ、目を通してみると、それは、9・11で家族を亡くしたある方の言葉でした。その方の兄が、その日ワールド・トレード・センター・ビルの103階で仕事をしていた、命を落としたのです。その方は兄をしのびつつ、このように言いました。「15年なんて15秒と一緒に悲しみます。今だまだ無くなりません。今だ毎日々、兄の死を思い、悲しみにくれています」大切な人を失った悲しみと痛みは、年月が経っても、自然には決して

てなくならないのです。あの悲劇の日、ワールド・トレード・センター・ビルでは、3000人以上が命を落としたといわれています。そのうち343人は、救助にの人生を、責任をもって生きていくことの大切さを教えてくれました」9・11が起きた時、まだ独身だったこの消防士の方は、今では結婚し、子供もいます。そして今では、

南加キリスト教会教会連合

大切な人

寺嶋 伯文

仕事も変えて順調なキャリアを重けています。「そういたひとつのことによつて、私は前に進むことができず、大切な人を失った悲しみと痛みは、どんなに年月が経っても、決して乗り越え

られるようなものではなく、ともに過ごした大切な日々は、残された人たちの心に、いつまでもとどまり続けるのです。聖書には、神は、一人ひとりはまだ母親の胎内にいた時から、その人たちを知っており、愛しておられると書かれています。一人ひとりの魂は、神にとつて、とても大切で尊い存在なのです。そして神は、一人ひとりに「わたしはあなたを愛している」と言っておられます。では神は、具体的に、私たちがどのようなに愛してくださいようでしょうか？

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によつて私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。」 (1ヨハネ4:9) 私たちは誰もが、生まれた時から、神を知らずに生きてきました。その原因は、誰もかもっている罪のせいであり、それによつて、神との親しい交わりが失われたままでした。私たちが心から愛しておられる神は、神が人となつて地上に降られたイエス・キリストの命によつて、私たちが神とを隔てている罪を取り除いてくれました。私たちの罪は赦され、神が私たちがどんなに愛してくれているかを、私たちが心から知ることができるよう道を開いてくれたのです。これを讀まれる皆さんの心に、主イエス・キリストの愛が豊かに注がれますように。

(ローリングヒルズカヴェナント教会)